

株式会社横浜アートニクス
2016年度環境活動レポート
(対象期間:2016年 6月~2017年5月)



2017年6月2日

目次

内容

□ 組織の概要	3
□ 環境方針	4
□ 環境目標とその実績	5
□ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容	6
□ 環境関連法規への違反の有無	7
□ 代表者による全体の評価と見直し	7

01 版	20170602 日付	木實 作成	立部 確認	久家 承認	初版作成 内容

○組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社 横浜アートニクス
代表取締役社長 久家 雅英
- (2) 所在地
福岡市早良区百道浜2丁目1番22号 福岡SRPセンタービル606-B
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 立部 貴己男 TEL:092-846-0611
担当者 木實 幸代 FAX:092-846-0612
【環境レポート公表URL】 <http://www.ykart.com/>
- (4) 事業内容
電気・電子機器 設計開発
・回路設計 ・FPGA(Field Programmable gate array)設計
・実装設計 ・プリント配線設計
- (5) 事業の規模

	事務所※1	派遣先企業	合計	
従業員	8名	22名	30名	
延べ床面積	131.07㎡			

※1 特定派遣従業員等として社外勤務の為、実質エコアクション対象従業員数は8名である。

- (6) 事業年度 6月～翌年5月

○対象範囲

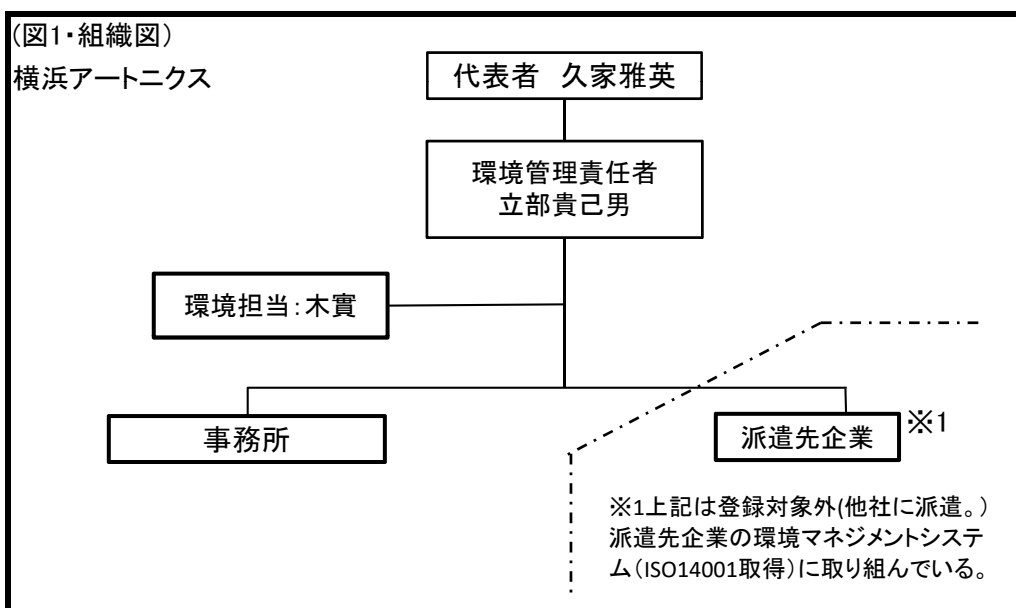
認証・登録の範囲 当社の全ての組織・事業(図1. 組織図参照)

認証・登録の活動範囲 電気・電子機器の開発設計

本環境活動レポートの対象機関及び発行日

対象期間 : 2016年6月1日～2017年5月31日

発行日 : 2017年6月2日



環境方針

【基本理念】

当社は、電気・電子機器のソフト・ハードウェア開発において、地域ならびに環境への関連性を考慮し恒久的に環境に配慮した開発を行い社会に貢献します。

【方針】

1. 法令規制の理解に努め、当社に適用する環境関連法規を遵守します。
2. 以下の項目を重点目標とし、環境負荷の低減に努めます。
 - ①電力の使用量削減による二酸化炭素排出削減に努めます。
 - ②紙使用量の削減、廃棄物の分別・リサイクルにより廃棄物排出削減に努めます。
 - ③節水に努めます。
 - ④グリーン製品の積極的な購入に努めます。
 - ⑤環境へのプラス影響を促進するサービスの提供に、積極的に努めます。
3. 環境教育や社内広報活動により、環境マネジメント・システムの維持・向上に努めます。
4. 環境活動レポートを社内外へ公表します。
5. 環境方針に基づいた目標・活動計画について全社員への周知徹底に努め、社内のみにとどまらず、社会人としての環境保全意識の向上を図ります。

2015年 6月1日 改定

2008年10月1日 制定

株式会社 横浜アートニクス
代表取締役 久家 雅英

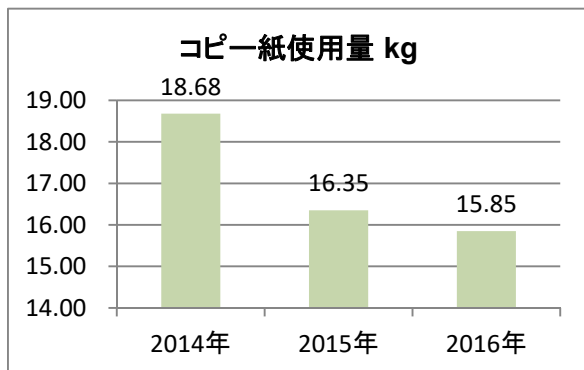
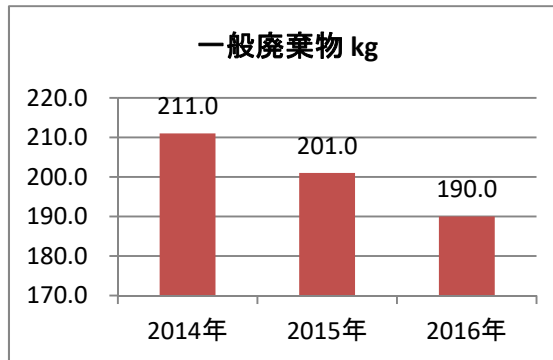
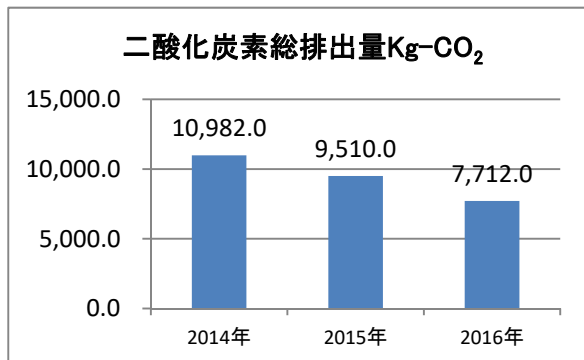
○主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	10,982.0	9,510.0	7,712.0
一般廃棄物(ビル管理共通処理)	kg	211.0	201.0	190.0
コピー用紙使用量	kg	18.68	16.35	15.85

※ 電力の二酸化炭素排出量換算値 0.584 kg-CO₂/kWh(九州電力:2014年度排出係数)

※ 水使用量: 当社は入居ビル管理の為、使用量の数値的な把握が出来ません。

※ 化学物質: 当社は化学物質の使用がありません。



○環境目標及びその実績

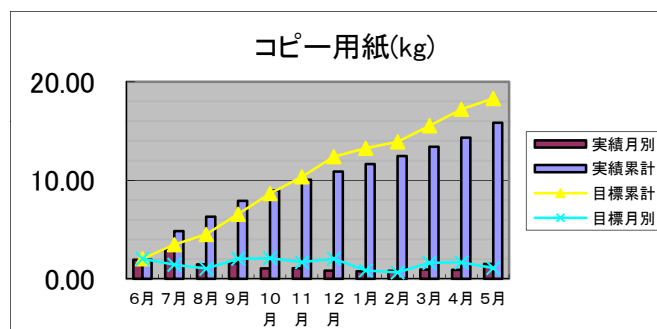
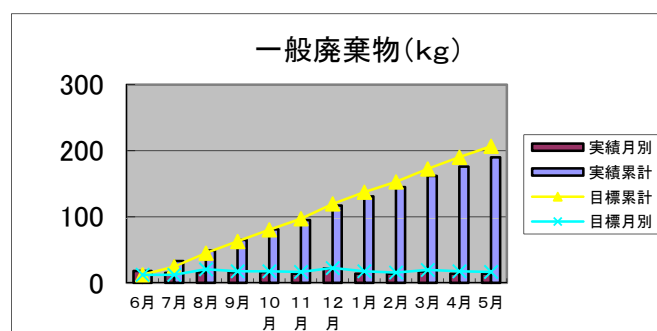
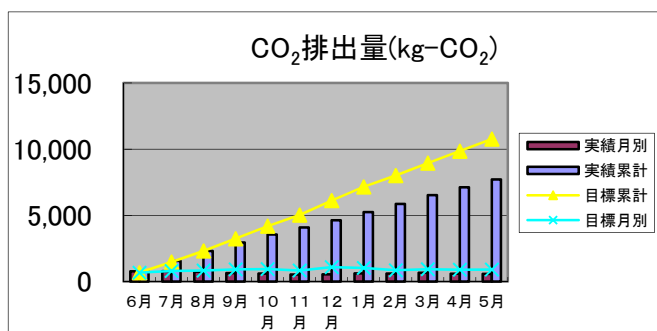
項目	年度	基準値 (2014年)	2016年			2017年	2018年
		(基準値)	(目標)	(実績)	(評価)	(目標)	(目標)
二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	10,982	10,762	7,712	○	10,652	10,542
	基準/削減比		2%減	30%減		3%減	4%減
一般廃棄物発生量	kg	211.0	206.8	190.0	○	204.7	
	基準/削減比		2%減	10%減		3%減	4%減
コピー用紙使用量	kg	18.68	18.31	15.85	○	18.12	
	基準/削減比		2%減	15%減		3%減	4%減
グリーン購入	事務用品	—	—	37	○	—	—
	グリーン品数	—	—	19		—	—
	対応率	—	49.0%	51.4%		50.0%	50.5%

※ コピー用紙(A4サイズ)は、坪量60g/m²(3.7422g/枚)にて算出した。

※ 水使用量に関しては入居ビル管理の為、日常的な節水のみを目標とし、基準値、目標値等は設定しない。

※ 化学物質は取り扱っていない為、基準値、目標値等は設定しない。

※ 製品への環境配慮については、受託業務開発仕様への進言が主となり目標値は検討中。



○環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 目標見直し <input type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 目標計画追加	
・空調温度の適正化 (冷房26℃～28℃ 暖房22℃～20℃)	◎	継続	目標達成。 今年度は6月のみ目標値をCo2使用量が増え目標値未達成だったが、それ以外の月で全て目標値より下回る事が出来、結果的に基準値より30%の削減が出来た。事務所内勤務者が減った事や複合機の買い替え、又例年より残業時間の減少により電気使用量が減った為と思われる。 次年度も継続して取り組む。
・窓の開閉にて温度調節を行う。	△	継続	
・クールビス・ウォンピスでの服装による温度調節	○	継続	
・OA機器の省エネモード設定	○	継続	
・朝8時30分まで消灯、昼休み消灯	◎	継続	
・電気製品の電源OFFの徹底	○	継続	
一般廃棄物の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 目標見直し <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・分別の徹底を行う	○	継続	・目標達成。 ゴミの量は事務所内での作業人数に月により変わるが、今年度は基準値より11%も削減出来た。これは基準値年より事務所常駐者が減った為である。目標計画は次年度も継続して取り組む。
・古紙のリサイクル化	○	継続	
コピー用紙の削減			
数値目標	◎	<input type="checkbox"/> 目標見直し <input type="checkbox"/> 基準見直し	
・プロジェクター使用による使用量削減	○	継続	・目標達成。 自社開発の為の提出書類が増えた6月・7月・2月・5月は目標値が未達成だったが、それ以外の月は目標達成出来、今年度は基準値より15%も削減出来た。 複合機買い替えて、1日2～3件はある迷惑FAX分の印刷分(年間約500枚)を減らす事が出来た事は評価出来る。次年度も継続して取り組む。
・分割印刷推進による用紙使用量の削減	○	継続	
・裏紙再利用	◎	継続	
・A4コピー用紙(坪量60g/m ² (3.7422g)使用	◎	継続	
グリーン購入			
数値目標	○	<input type="checkbox"/> 目標見直し <input type="checkbox"/> 基準見直し <input type="checkbox"/> 目標計画追加	
・有害性の少ない資材の購入	○	継続	今年度は36品数の内18品数をグリーン購入し対応率としては51.4%になった。事務用品を購入する際は、先にグリーン用品を確認し購入する様心掛けたので目標達成する事が出来た。次年度もグリーン商品購入を心掛けたいと思う。
・事務用品グリーン購入対応率向上	○	継続	
・複合機購入	◎	継続なし	
節水			
数値目標は行わない	—		
・事務所内節水ポスター掲示	△	継続	日常的な節水に取り組む。
・日常的に節水に心掛ける	◎	継続	
製品への環境配慮			
数値目標は行わない	—		
・開発仕様への参画	○	継続	受託業務開発使用への進言を主に環境を配慮した設計に取り組んだ。 次年度以降も、常に環境性を配慮した設計に取り組む。
・低消費電力を目的とした装置設計	○	継続	
・有害物質を含まない装置設計	○	継続	

○環境関連法規への違反の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	当社の対応	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物	当ビル指示に従って分別	○
資源有効利用促進法	ディスプレイ・パソコン・複合機等	業者引取り依頼を行った	○
小型家電リサイクル法	固定電話・電卓・ACアダプター・ケーブル	期間中の廃棄小型家電なし	○
家電リサイクル法	冷蔵庫・テレビ	期間中の廃棄家電なし	○
自動車リサイクル法	社用車	期間中の廃車なし	○
消防法	管理ビルによる総合防災訓練	総合防災訓練(2015/10月参加)	○
福岡市廃棄物減量及び適正処理等に関する条例	一般廃棄物	当ビル指示に従って分別	○

なお、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

○代表者による全体の評価と見直し

【評価】

今年度は事務所常駐勤務者の減少ならびに残業時間削減の効果もあり、二酸化炭素排出量は大幅に削減された。また、同様に一般廃棄物も削減され、環境目標を達成する事ができた。

更に、消費電力が大きかった複合機について低消費電力機種への買い替えを行い、電力使用量(二酸化炭素排出量)の低下ならびに、迷惑FAX対策機能によりコピー用紙使用量を削減した。

来年度も引き続き低消費電力化(こまめな消灯やエアコン温度管理)に努め、社員全員の環境意識の向上を追求しつつ目標達成に取り組むこととする。

【見直し】

環境方針、環境目標、環境活動計画等の変更は必要性無いと判断するが、生物多様性保全への取り組みとして、ラブアース活動等地域環境保全活動への参加を検討する。